

キャンプファイヤー

人数	20～200人程度 スポーツ広場：最大200人程度 レクリエーション広場：最大80人程度 営火場：最大100人程度	指導形態	指導不可
		目安時間	2～3時間
対象	特になし	活動場所	スポーツ広場、レクリエーション広場、 営火場
班編制	1グループ4～6人が適当	天候	雨天不可
		実施時期	通年

1 概要

自然の中で、悠然と燃える火を囲み、ゲームやスタンプを行いながら、仲間との友情を深める活動です。

2 ねらい

- (1) 自分で考え、活動に進んで取り組むことができる。
- (2) 初めてのことに對しても、進んで挑戦することができる。
- (3) 仲間とコミュニケーションを図ることができる。
- (4) 仲間と力を合わせて取り組むことができる。

3 準備物

団体が準備するもの

- ゲーム、スタンプで必要なもの
- 長袖・長ズボン
- 新聞紙
- マッチ等（火をつけるもの）

施設が貸し出すもの

- マイク
- プレイヤー
- 延長コード
- 掃除用具
- リヤカーまたは一輪車（木材を運ぶため）



教材注文で購入できるもの

- ファイヤーセット
- トーチ棒
- 灯油1リットル
- 追加用の薪

4 役割分担（例）

- 団体担当者…全体の総括・指揮、担当指導員との連絡
- 営火長（1人）…開会・閉会のあいさつ、全体への指揮
- ★○司会者（1～2人）…司会進行、レクリエーション
- ★火の使い（1～2人）…トーチ入場、点火の言葉、点火
- ★火の守り（2～3人）…薪組み、火の調整、後始末
- ★誓いの言葉（数人）…誓いの言葉、分火（グループの代表）

○引率者・指導者の役割

★児童生徒の役割

5 主な活動内容 ①の説明は担当指導員が行います。

①準備・片付けの説明を受け、貸出物品・購入した教材を受け取る。

②会場の準備（井桁組みなど）をする。

③キャンプファイヤー

（例）

〔第1部 迎火のつどい（約15分間）〕

入 場……静かに井桁を囲むように入場

開会の言葉……司会者より

歌 唱……「遠き山に日は落ちて」等静かな曲

営火長入場……ハミングの中入場

点 火……営火長の指示で点火

歌 唱……「燃えろよ 燃えろ」

営火長よりはじめの言葉…目的や火と人間の関わり等の話

〔第2部 交歓のつどい（約60分間）〕

ゲーム・ダンス・ソング・グループの出しもの（スタンツ）等

〔第3部 送火のつどい（約15分）〕

採 火……営火長が中央の井桁よりトーチに火をつける

誓いの言葉……営火長より火をトーチにつけてもらい、誓いの言葉を順に発表

分 火……発表後に全員へ分火

営火場よりおわりの言葉…今日を振り返って明日につなげる言葉等

歌 唱……「今日の日はさようなら」等静かな曲

退 場（トーチをその場において退場する方法もある）

④会場を片付ける（木材は燃やしきる）。

⑤灰を処理する。

⑥貸出物品を返却し、事務室に終了の連絡をする。

※時間にゆとりのある計画を立ててください。

※火傷などが起きないように、火の扱いには十分注意してください。

※薪は肺になるまで燃やし、その後はしっかり水をかけて消火してください。

※用具は丁寧に扱い、使用前後の確認や点検を十分に行ってください。

※貸し出し用具は、夜のうちに返却し、事務室に連絡してください。